

2 個別事業評価調書

団体名:与謝野町

事業名		AED(自動体外式除細動器)設置事業					
事業の概要		<p>日本国内での心疾患による死亡者は年間十数万人を数えるが、AEDによる早期の処置を行えばその多くを救うことが可能であったといわれている。平成16年7月の非医療従事者によるAED使用解禁に伴い、日本国内では多くの公共施設等にAEDが設置されることとなり、当町の公共施設においても早急な設置が望まれている。</p> <p>AEDが必要とされる状況は時間や場所を選ばないため、極力早期にかつ多くの場所に設置されるのが望ましい。多くの人が集まる公共施設にAEDを設置することで、少しでも多くの命を救うことが可能となり、安心・安全のまちづくりに資するものである。</p> <p><内容> 自動体外式除細動器(AED)の設置 24ヶ所</p>					
		事業期間	平成18年度				
		総事業費	6,678	本年度事業費	6,678	交付金交付額	3,339
事業評価	事業の必要性	日本国内での心疾患による死亡者は年間十数万人を数えるが、AEDによる早期の処置を行えばその多くを救うことが可能であったといわれている。平成16年7月の非医療従事者によるAED使用解禁に伴い、日本国内では多くの公共施設等にAEDが設置されることとなり、当町の公共施設においても早急に設置することが求められた。					
	事業の有効性	AEDが必要となる状況は時間や場所を選ばないため、極力早期にかつ多くの場所に設置されるべきである。多くの人が集まる公共施設にAEDを設置することで、かけがえのない命を救うことが可能となり、安心・安全のまちづくりに資するものである。					
	事業の効率性	多数のAEDを町内に分散配置することにより、例えば休業日の施設等から各種イベント等へ持ち出して配備することが可能になり、イベント参加者への救護体制の向上を図ることができる。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		<p>身近な施設にAEDが設置されることにより、救急救命活動に対する意識を高めることができる。また、AEDを正しく使用するために救命講習等に参加することで、救命活動全般に対する知見を向上させる機運となる。</p>					
		3 リーディング・モデル成果					
<p>患者はどこで発生するか分からないため、AEDは公共施設だけでなく一般の施設にも設置されることが望ましい。そのため行政が率先して設置に取り組むことにより、一般の施設に対してAED設置の意識の高揚を図ることが期待される。</p>							
4 広域的波及成果							
<p>多数のAEDを町内に分散配置することにより、例えば休業日の施設等から各種イベント等へ持ち出して配備することが可能になり、イベント参加者への救護体制の向上を図ることができる。</p> <p>このような場でAEDが有効に活用されその有用性が認識されれば、同様の他イベント等が開催される際の導入例が増加することが思料される。</p>							
5 行財政改革に資する成果							
6 その他の成果							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。